

共生のひろばに参加して

清原 正義（兵庫県立大学 理事長・学長）

今回、「共生ひろば」に参加してたいへん勉強になりました。様々な人々が自分たちの活動や勉強の成果を発表されましたが、そのどれもがユニークな発表で、聞いていてとても楽しく感じました。とくに小学生のお二人松田さん、島田君が発表されたのには驚きました。どうしたらあんなに立派に話すことができるのだろうと、自分の小学生時代を振り返りながら感心して聞いていました。

今回の発表では、市民の皆さんの活動報告と高校生の研究発表が印象に残っています。理科の「大地のつくり」の教材や授業の発表も面白かったですし、「家族でぶらっと六甲散歩」も継続して発表されているようで今後が楽しみです。そのほかにも「オオムラサキ」の飼育、「カワバタモロコ」のピオトープも楽しさが伝わってきました。

大学教員としては、どうしても研究的な観点から見てしまいます。その観点から言えば、高校生の発表はどれも甲乙つけがたい立派な研究だったと思います。いくつか賞をもらったのですが、それは研究の内容もさることながら、プレゼンの態度がすばしかったからではないでしょうか。御影高校の皆さんの発表はすぐれていたと思います。県立農業高校の発表もよかったです。香寺高校は福崎高校と討論したら面白いと思います。県立大学附属高校もなかなかよかったです。皆さん大学生も顔負けだったように思います。とくに「リケジョ」を目指す皆さん、ぜひ兵庫県立大学においでください。

「共生のひろば」に参加して、「人と自然の博物館」が地域に広がりをもって活動しておられることがよく分かりました。大学もこのような活動に大いに学ばないといけないと思った次第です。河合先生、岩槻先生、中瀬館長、田中先生はじめお世話いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。

